

JPDA 令和3年1月定例理事会議事録

日 時：令和3年1月20日（水）午後1時30分～午後5時10分

場 所：オンライン（zoom）

出席者：理事24名中21名（伊藤 透、井上 聡、加藤芳夫、青木（入江）あずさ、石浦弘幸、伊藤雅文、牛島志津子、畝野裕司、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、高田知之、竹内清高、中越 出、永田麻美、信藤洋二、松尾政明、森 孝幹、山崎 茂）

監事2名中2名（時田秀久、藤田 隆）

欠席届3名（梅原 真、中森恭平、三原美奈子）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
時田秀久、藤田 隆

議事の経過

定款第31条（議長）により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに出席者23名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条（議事録）により、議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事、藤田隆監事の4名であることを確認し、議事に入る。

議案の審議に入る前に、伊藤理事長より、2021年の年頭所感の発表があった。（内容は別添資料参照）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会届を提出した下記の個人会員1名の入会を承認した。

（1）個人会員（1人）

<海 外>

1. 趙 彦傑（Josh Chao）【推薦者：森 孝幹】

第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した下記の個人会員2名の休会を承認した。

（1）個人会員（2人）

<東日本>

1. 鈴木 雄一郎（すずき ゆういちろう）【令和2年12月～令和4年11月】

(会費の負担があるのに、会員であることのメリットが実感できないため)

<西日本>

2. 広本 理絵 (ひろもと りえ) 【令和3年4月～令和4年3月】
(子育てのため)

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した下記の個人会員2名、法人会員1社の退会を承認した。

(1) 個人会員 (2人)

<東日本>

1. 小麦川 直樹 (こむぎかわ なおき) 【令和2年12月末退会希望】
(健康上の理由で個人事務所を閉じるため)

<西日本>

2. 有吉 みよ子 (ありよし みよこ) 【令和2年12月末退会希望】
(一身上の都合)

(2) 法人会員 (1社)

<東日本>

1. アンタリス・ジャパン株式会社 【令和3年3月末退会希望】
(組織変更のため)

第4号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記2件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 協賛名義使用の依頼 (2件)

1. 「第91回東京インターナショナル・ギフトショー春2021」
「東京インターナショナル・ギフトショー春2021 第9回LIFE×DESIGN」
【2021年2月3日(水)～5日(金) 東京ビッグサイト (東京国際展示場)
西展示棟1～4ホール/アトリウム、南展示棟1～4ホール】
主催：(株) ビジネスガイド社
2. 「TOKYO PACK 2021—2022 東京国際包装展」
【2021年2月24日(水)～26日(金) 東京ビッグサイト (東京国際展示場)
西展示棟1～4ホール/アトリウム、南展示棟1～2ホール】
主催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)

第5号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・ 11/12 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 11/17 パッケージデザインの学校打合せ(zoom)
 - ・ 11/20 60周年創作展「みらいパッケージ展」事前打合せ(zoom)
 - ・ 11/24 東日本委員会(zoom)、
JHSPサハ°ウロスタッフとの打合せ(zoom)
 - ・ 11/26 60周年企画展打合せ
 - ・ 11/27 西日本 オンライン展示会 (remo)、
JHSP教育セミナー打合せ(zoom)
 - ・ 12/2 パッケージデザインの学校打合せ(zoom)
D-8運営会議(zoom)
 - ・ 12/4 教育セミナー(zoom)
 - ・ 12/8 事務局運営打合せ ((株)プラグ)
 - ・ 12/15 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 12/16 臨時理事会(zoom)
 - ・ 12/18 パッケージデザインの学校打合せ(zoom)、
JHSPサハ°ウロスタッフとの打合せ(zoom)
 - ・ 12/23 東日本委員会(zoom)
 - ・ 1/6 60周年企画展打合せ(zoom)
 - ・ 1/12 東日本委員会(zoom)
D-8代表者会議(zoom)
 - ・ 1/13 APD打合せ(zoom)
 - ・ 1/20 定例理事会(zoom)
 - ・ 1/22 パッケージデザイン功績賞贈賞式・記念講演会(zoom)、
JPDA全国新年会(zoom) に出席予定
 - ・ 1/26 60周年企画展打合せに出席予定
- ※1/29に出席を予定していたJPC (ジャパ°ン パ°ッケージ コンペ°テイション) 審査会は延期となりました。
- 井上副理事長報告
- ・ 11/18 西日本 オンライン展示会リハーサル
 - ・ 11/27 西日本 オンライン展示会 (remo)
 - ・ 12/4 教育セミナー(zoom)
 - ・ 12/8 事務局運営打合せ ((株)プラグ)

- ・ 12/16 臨時理事会 (zoom)
- ・ 12/28 APD打合せ (zoom)
- ・ 1/6 西日本委員会
- ・ 1/13 APD打合せ (zoom)
- ・ 1/20 定例理事会
- ・ 1/22 パッケージデザイン功績賞贈賞式・記念講演会 (zoom)、
JPDA全国新年会 (zoom) に出席予定
- ・ 1/28 西日本委員会
- 加藤専務理事報告
- ・ 11/12 60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 11/13 「現代日本のパッケージ展」オンライントーク コメンテーター
- ・ 11/17 パッケージデザインの学校打合せ (zoom)
- ・ 11/20 60周年創作展「みらいパッケージ展」参加者意見交換会
(zoom)
- ・ 11/24 JHSPサンプラスタッフとの打合せ (zoom)
- ・ 11/26 60周年企画展打合せ
- ・ 11/27 JHSP教育セミナー打合せ (zoom)
- ・ 12/2 パッケージデザインの学校打合せ (zoom)
- ・ 12/4 教育セミナーコーディネート (zoom)
- ・ 12/8 事務局運営打合せ ((株)プラグ)
- ・ 12/14 出版委員会
- ・ 12/15 60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 12/16 臨時理事会 (zoom)
- ・ 12/18 JHSPサンプラスタッフとの打合せ (zoom)
- ・ 12/22 60周年企画展打合せ
- ・ 1/6 60周年企画展打合せ (zoom)
- ・ 1/12 JPDA Pデザイン功績賞リハーサル (東日本委員会) (zoom)
- ・ 1/13 APD打合せ (zoom)
- ・ 1/18 おいしい東北パッケージ審査会
- ・ 1/19 パッケージデザインの学校打合せ (zoom)
- ・ 1/20 定例理事会 (zoom)
- ・ 1/22 パッケージデザイン功績賞贈賞式・記念講演会 (zoom)、
・ JPDA全国新年会 (zoom) に出席予定
- ・ 1/26 60周年企画展打合せに出席予定

※1/29のJPC (ジャパンパッケージコンペティション) 審査会は延期となりました。

第6号議案 次期事務局長候補の推薦について

渡邊事務局長より、伊藤理事長、井上副理事長の了解を得て、2021年4月1日付けで次期事務局長に資生堂OBの飯塚陽一氏（64歳）を推薦したいとの提案があり承認された。飯塚氏は2月～3月の間は、引き継ぎも含めて週に1～2度事務局に来ていただき、渡邊現事務局長は4月～6月の間非常勤で、内閣府報告の業務を中心に手伝うとのこと。

第7号議案 アスパック事業の終了とアスパック協会の解散について

渡邊事務局長より以下の報告があった。

- ・2019年まで(一社)アスパック協会と国際交流基金の共催で、毎年開催されていたアスパック事業(アジア学生パッケージデザインコンテスト)は、昨年(2020年)、新型コロナウイルスの拡大により、参加国の学生・審査員を日本に招いた審査会、贈賞式等の中止を余儀なくされた。
- ・2021年度も国際交流基金の資金援助が期待できないことや、他の参加国をホストとした開催も難しいことから、これまでのアスパック事業を継続することは困難であるとの判断に基づき、2020年12月の理事会で解散決議を行い、12月末をもってアスパック協会を解散したとの報告をアスパック協会事務局から受けた。
- ・したがって、来期のJPDAの収益事業は事実上なくなってしまうが、しばらくの間、今後の収益事業の可能性を検討していきたい。

伊藤理事長、加藤専務理事より、「アスパックについては日本での受賞式・展覧会等でJPDAの会員が全面的に協力してきたこともあり寂しい気がするが、JPDAで検討を始めた「学生賞」にアスパックでの経験が生かせるようにできれば良いと思う」とのコメントがあった。

第8号議案 D-8(日本デザイン団体協議会)での今後の発信力を高めるための議論について (伊藤理事長・事務局)

- ・伊藤理事長より、

「D-8のメンバーである日本クラフトデザイン協会が2021年に解散すると聞いている。

これからのD-8はこれまでのようにデザイン団体の寄せ集めではなく、8つのデザイン団体が協力してD-8全体としての発信力を高めていく必要があるのではないかと幹事協会(日本空間デザイン協会)の提案もあり、昨年12月から加盟団体トップが集まった意見交換会の場を設けている。

1月の打合せの席で、あまり大上段に構えるのではなく、まず各団体の交流を深めることから始めてはどうか。例えば2022年の通常総会を同じ場所で開催し(協会毎に部屋を設ける)、終了後に合同の交流会を開催してはどうかとの意見が出た。

この件についてJPDA役員の意見を聞かせてほしい。」との説明があった。

<以下、出席者の意見（敬称、職掌略）>

- ・総会を同じ日に開催し、終了後交流会の場を設けるのはよいと思うが、合同展覧会のようなイベントの実現はまだ難しいのでは……。 (加藤)
- ・JAGDA（グラフィック）以外の協会の活動や人のことはよく知らないので、是非交流してみたい。実現できればワクワクする。 (小川(裕))
- ・昨年JAGDAと共催のセミナーを開催してJAGDA・JPDAから多くの会員が参加したが、終了後のアンケートでも、もっと他の協会と交流してみたいとの意見があった。 (永田)
- ・D-8のことはよく知らなかったもので、わかっていないことが多い。 (井上)
- ・まず100人のzoomによるオンライン交流会をしてみてもはどうだろうか。人が集まらなくても、各協会の活動を紹介する5分程度の映像を作って順番にそれを流すのを公開するのも面白いと思う。 (桑)
- ・すぐ100人ではなく、代表理事による協会活動の紹介をオンラインで公開してはどうか。 (山崎)
- ・今だから、オンラインだから、できると思う。 (永田)
- ・空間3団体(空間・サイン・インテリア)の活動はいまだによくわかっていない。 (伊藤(透)、加藤)
- ・理事長間の意見交換会でも、まずは協会間の交流から始めるべきとの意見を述べたが、いただいた意見は、幹事団体に伝えておきたい。 (伊藤(透))

第9号議案 1～3月に開催する日本パッケージデザイン大賞2021巡回展について

渡邊事務局長より、現在進行中の以下3つの巡回展の概要についての報告があった。

1. ジャパン・ハウス サンパウロ (JHSP) 【2021年1月19日(火)～3月14日(日)】

- ・1/19(火)よりブラジルのサンパウロでスタートした「パッケージング 日本の現代デザイン」では、大賞2021の全入賞作品と一部の入選作品、JPDA大賞の歴史、JPDAの紹介がされている。(1/19の会場写真で紹介)
- ・伊藤理事長より、2～3月に3回(伊藤理事長、サントリー水口氏、永田理事)のオンラインセミナーを予定しているとの補足があった。

2. TOKYO PACK 2021—2022 【2021年2月24日(水)～26(金) 東京ビッグサイト】

- ・会場図面により、今回の出展場所・スペース・展示の考え方が紹介された。
- ・今回、会場設営は入江理事に、また、設営、撤収を含めた開催期間中の人的応援は小原理事を通してコンペ委員の方々にお願いした。初めての試みであったが、皆様のご協力に深く感謝したい。
- ・主催者((公社)包装技術協会)への確認では、今回の非常事態宣言は飲食を対象としており、イベントへ中止等の規制はないことから、予定通りの開催を考えているとのこと。

3. 名古屋 日本パッケージデザイン大賞2021巡回展

【2021年3月10日(水)～15日(月) 名古屋国際デザインセンター】

- ・中日本委員会の伊藤(雅)理事から、現時点で主催者は予定通り開催する意向であること、3/13(土)にセミナーを予定していること、2月に中日本の会員で交流会を行うこと等の説明があった。

加藤専務理事から、開催期間中の作品の盗難防止策はどうなっているかとの質問があった。

⇒・名古屋の会場では過去にそのような盗難防止策がとられたことはなく、今回も会場に常駐するJPDAの会員が見張っている。(伊藤(雅))

- ・TOKYO PACKについては、全作品を透明のアクリルケースでカバーし、コンペ委員が常駐しているのでまず問題はない。(入江)

⇒伊藤理事長、加藤専務理事から、名古屋もそのアクリルカバーを使ってはどうかとの指示があり、これまでの巡回展ではとくに防止策をとっていなかったことはあるが、東京からの輸送方法も含めて中日本委員会と事務局で検討することになった。

第10号議案 事務局報告

渡邊事務局長より以下の報告があった。

1. 2021(令和3)年度予算立案の経過報告

- ・各委員会から提出された公益事業の収益・費用の予算(案)と事務局で試算した入会金・受取会費等の収益・管理費(案)を積み上げた2021年度の全体予算についての説明があった。

- ① 2020年度はコロナの影響で考えていた費用予算が消化できなかったため、今のところ経常増減額で予定を上回る黒がでる見込み。(＋300万円)
- ② 一方、2021年度はまだコロナの影響が残ると考え、入会金・受取会費の収入を2020年度より120万円ほど少なく見ていること(2019年度よりは▲350万円)。また、公益事業でこれまでなかった新たな予算(学生賞、中日本でのコンペ等＋400万円)が出てきていることから、全体の経常増減額が▲510万の大きな赤字となってしまう。(このままの数字では提出することができない状態)
- ③ 最終的な予算(案)は3月の定例理事会で決定することになるので、2月中に再度精査して最終案を作成したい。関係する委員会には2月5日(金)までに事業内容と費用予算についての再検討をお願いしたいと考えている。

<これについての出席者からの意見(敬称、職掌略)>

- ・費用のみの議論だけではなく、収入や協会補助金も考慮した事業収支で検討すべきではないか。(井上、小川(亮))
- ・オンラインセミナーは無料となっているが、会場費がかからない反面、諸謝金は必

ず発生するので、次年度からは有料化も是非検討してほしい。(伊藤(透))

- ・オンラインセミナーの有料化は運営面で失敗は許されないので、ハードルは高いと思う。(永田)
- ・有料化は一度やってみないとわからないところがある。(加藤、小川(亮))
- ・当面オンラインセミナーは続くと思われるので、事務局のネットワーク環境を整備するよう検討していただきたい。(小川(亮))
- ・それは是非進めてほしい。(伊藤(透))

2. 内閣府への役員報酬規定変更の届出について

- ・2019年11月の理事会で改訂の承認をいただいた役員報酬規定については、内閣府への届出義務のある事項であったため、1月に届出を済ませる予定。
⇒理事会開催中に内閣府から内容を確認したとの連絡あり。届出は終了した。

3. 2021年のデジタル会員名簿の進捗について

- ・現在最終段階にきており、1月中の完成後、全会員にメルマガで案内する予定。

4. テレワーク助成金について

- ・1/7に実績報告書を郵送した。内容に問題なければ、今年度中に助成金517,000円が振り込まれる見込み。

5. 緊急事態宣言発出に伴う事務局の勤務体制について

- ・1/8に発出された緊急事態宣言に伴い、終了予定の2/7までは必要な場合は出社もあるが、それ以外は基本的に事務局員全員を在宅勤務とする。
また、2/8以降は状況を見て判断する予定。

第11号議案 委員会報告 (●は資料あり)

<承認事項> (3件)

●中日本(北陸)

畝野理事より、資料に基づき、10/9～11に富山市民プラザで開催(リアル)された富山デザインフェアについての結果報告と収支報告があった。

- ・富山デザインフェアは出席者1,383、同時開催の学生のパッケージデザインコンペティションは全国の39校から155名の応募があり、大賞を含む14点の入賞作品を選出した。
- ・伊藤理事長、加藤専務理事より、「学生コンペについては、これから検討していく「JPDA学生賞」とのリンクも検討してほしい」とのコメントがあった。
- ・引き続き以下の収支報告が承認された。

<富山デザインフェア>

公益会計：収入 100,000円、支出 121,468円、協会補助 30,000円、

収支差額：+8,532円

<教育委員会オンラインセミナー(12/4開催)への共催>

公益会計：収入 0円、支出 50,000円、協会補助 55,000円、収支差額：+5,000円

●西日本

松尾理事より、資料に基づき、11/27に開催した勉強会「こえる Vol.2」 オンライン展示会の活動報告と収支報告があった。

- ・オンラインの仮設展示場に法人会員10社がそれぞれのブースを構え、参加者は興味のあるブースに入って15分間のプレゼンテーションを受ける。プレゼン終了後は他のブースに移って、計7社のプレゼンを受けることができる形式の展示会であった。7回終了後に休憩があったあと、30分間のフリータイムで各企業と自由にコミュニケーションをとってもらい閉会した。
- ・終了後アンケートをとったが、参加者からは概ね良好な評価をいただいた。
- ・今後の課題としては、参加費が無料だったため、事前の申込者は50名(限定)だったが、当日の参加者は40名に留まったことがあげられる。今後は参加費無料の場合は予約の取り方に工夫が必要と感じた。また、今回使ったオンラインソフトRemoは自由に好きな部屋に行くことができるというメリットがあるので使ったが、1ヶ月の使用料が高額(47,000円)なので、利用方法を考える必要がある。
- ・次のステップとして、参加料の徴収と全国レベルへの拡大を検討していきたいと思う。
- ・引き続き以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入 0円、支出 69,338円、協会補助 125,000円、収支差額：+55,662円

<出席者からの質問・意見(敬称、職掌略)>

- ・出展した企業の反応はどうだったか?(伊藤(透))
⇒今回は関西の会員企業のみだった。15分のプレゼン時間は短い・ちょうど良いと意見が分かれたが、デザイナーとコミュニケーションがとれたことは良かったし、JPDA会員であるメリットを上にも報告できたことがよかった。(松尾)
- ・今後は非会員にも出展を募って参加料をいただくようにしてはどうか。また、Remoの月間使用料が高いとすれば、年間契約にして他の委員会も使えるようにすればよいと思う。(伊藤(透))
- ・今回出展した(株)クルツ(法人会員)は今回の企画を高く評価していた。印刷業や素材を扱う企業はデザイナーとの接点を求めているので、出展料を取ることは可能だと思うし、今後は出展社数を拡大して損益構造を改善する可能性は十分あると思う。(江藤)
- ・かなり可能性を秘めたイベントであり、年2回の開催とか全国レベルへの拡大を検討してほしい。(伊藤(透))
- ・出展料を取ることは可能と思うし、大変良いイベントだと思う。(加藤)
- ・出展社が希望すれば、そのプレゼン内容をJPDAのサイトに掲載することはできるのか?

(牛島)

- ・JPDAサイトにはイベントのレポートページがあるので、画像・テキストを提供いただければ費用はかからずに掲載することは可能。(中越)
- ・コロナ禍だったためこのような形になったが、コロナ収束後も企業とデザイナーの出会いの場として継続できればと思っている。(井上)

●教育

永田理事より、資料に基づき、12/4のオンラインセミナー「デザインする場所に意味はあるのか？」の活動報告と収支報告があった。

- ・初めてのオンラインセミナーであり、詳細は議案書を見ていただきたいが、冒頭ファシリテーターをお願いした加藤専務理事のコメントにあったように、オンラインなればこそ、2カ所の遠隔地を結ぶセミナーであった。
- ・100名の参加者を考えていたが、申込みが209名、参加費無料にもかかわらず、実際の参加者は151名で、途中退席される方もほとんどなく、終了予定だった20:30後も延長して、終了したのは21:00を回っていた。
- ・今後はこのようなオンラインのメリットを使って、海外を結ぶセミナーにトライしていきたいと考えている。
- ・引き続き以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入 150,000円※1.、支出 170,680円※2.、協会補助 0円、

収支差額：△20,680円

※1. 収入は中日本(愛知・岐阜)からの100,000円、中日本(北陸)からの50,000円の共催金

※2. 支出の内150,000円は2人の講師への諸謝金150,000円と

zoom(ウエビナー)の月額使用料 20,680円

<出席者からの質問・意見(敬称、職掌略)>

- ・zoom(ウエビナー)の費用はRemoと同様に、いくつかの委員会がまとめて契約することにより減額することができるのではないか。(伊藤(透))
- ・1人1,000円の参加費を取れば、150,000円となり諸謝金はカバーできる。今回の平井氏のコメントはそれ以上の価値があったと思う。(加藤)
- ・今回の内容は1,000円でも安いと思うが、今後の企画内容次第だと思う。(伊藤(透)、加藤)

<報告事項>

●国内交流

桑理事より、資料に基づき、オンライン交流会「みんなでつながろう! デザインの輪!」

- ・第1回(11/6): GK京都訪問の結果報告
- ・第2回(1/29): ブラビスインターナショナル訪問の案内があった。

- ・コロナ禍の中、今回はセミナー（勉強会）形式ではなく、全国から参加できる事業所訪問形式の交流会とした。
- ・第1回はアンケートでも高評価をいただいたが、次回以降は委員会内の反省点も踏まえ、訪問先の仕事の内容や事務所の説明を減らし、参加者からのチャットでの質問にもタイムリーに答えるような人と人との対話形式を増やすようにするとともに、参加者の上限を設けず全国から幅広く参加者を募りたいと考えている。
- ・第2回はフミ・ササダ氏のブラビス訪問、第3回は四国の梅原理事のオフィス訪問を予定しているが、今後はデザイン事務所だけではなく、紙等の素材メーカー・印刷業などに訪問先を広げることを考えていきたい。
- ・なお、収支についてはは第2・3回の結果報告と合わせて、4月の理事会に報告したい。

●60周年創作展

牛島理事より、資料に基づき、11/20 第1回展覧会zoom会「みらいトーク」についての活動報告があった。

- ・参加者、関係者を含めて43名が参加。第1部は展覧会理事3名のトーク、第2部は8グループに分かれてのグループトーク（コロナ禍で感じたこと・今回の展覧会テーマ・作品について）、第3部はまとめといった内容であった。（詳細は資料参照）
- ・グループトークでは他のグループで出た意見の共有化ができなかったため、終了後各グループ毎に議事録を作成し、参加者全員と、参加はできなかったが出品予定の方全員に送り、意見の共有化を図った。
- ・小川(裕)理事からは、「展覧会出品予定者と事前にこのような機会が持てて大変有意義だった。3～4月頃にもう一度zoom会を考えたいと思っている」との補足があった。

●出版

山崎理事より、資料に基づき、10/10～12/5 印刷博物館で開催された「現代日本のパッケージ展」と期間中(11/13)のトークイベントについて以下の活動報告があった。

- ・参加者は事前予約制としたが、当日来館者の方が多く、1日の来館者数が80名を越えたのは3日間のみと大変苦しい状況であった。主催者の凸版(株)印刷博物館もこれまでの来館者数のみの目標に変わる何か（満足度）を模索する必要があると考えている。
- ・トークイベントは、これまで収容スペースの問題から約50名の参加者に終わっていたが、今回は約3倍の186名の視聴者がありオンライン開催のメリットはあったと考えている。
- ・今後オンラインでの開催を継続していくためには、準備不足の解消・質の高い使用機材の検討・チャットの活用・出演者が全体を把握できないことの解消など、技術的な改善点は多いが、コロナ禍が去っても、他の委員会同様に新しいイベント開催方法として考えていくべきだと思う。

●東日本

竹内理事より、資料に基づき、1/22(金)に開催されるパッケージ功績賞（加藤芳夫氏）贈賞式と記念講演、及び、初めてのオンライン新年会についての企画内容の案内があった。

- ・第一部（贈賞式と記念講演会）18:00～、第二部（2021年JPDA全国新年会）19:15～
全てリモートの2部構成で参加費は無料、現時点で参加者は約150名の予定。
- ・第二部では伊藤理事長の挨拶、井上副理事長の乾杯の後、日本全国 北海道から沖縄までと、海外のインドネシアからの新年メッセージリレーがあり、その後でブレイクアウトルームに分かれた新年会による交流を図るプログラムとなっている。

●調査研究

中越理事より、資料に基づき、2/24～26ビッグサイトで開催されるTOKYO PACKのパッケージパビリオンへの出展と、2/25に予定しているセミナーに関しての案内があった。

●アーカイブ

入江理事より、資料に基づき、故木村勝氏の受賞作品寄贈の件と、昨年12/11にとしま区民センターで開催されたD-8デザインミュージアム構想 研究発表会についての報告があった。

●インターネット

中越理事より、資料に基づき、経産省からの協会内周知依頼、JAPAN DESIGNERSアンケートの実施、イベント告知案内のために必要な資料の詳細（委員会メンバーとの共有）に関しての委員会活動報告があった。

●デザイン保護

高田理事より、資料に基づき、ホームページでの委員会レポートページ（No. 122～124）、今下期開催の勉強会・セミナーの結果報告、及び、3月開催予定のオンラインセミナーについての案内があった。

●60周年企画展の中間報告

加藤専務理事より、資料に基づき、2021年8月1日～10月4日、印刷博物館で開催予定のJPDA60周年記念「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」についての中間報告があった。（詳細は資料参照）

- ・すでに報告のとおり、「美」、「愛」、「象」、「欲」、「用」の5つのカテゴリーそれぞれに、「縄文的なデザイン=複雑美」と考えられる商品と「弥生的なデザイン=シンプル美」と考えられる商品を展示することで検討を進めている。（全150～160点）
- ・現在は展示する商品のコメントの制作と入手する手段（購入、貸出）を検討中。今日出席されている役員の方々でお持ちのものがあれば是非ご連絡いただきたい。
- ・コロナ禍で打合せは全てオンラインとなっているが、実際のリアルな議論よりもWeb上の方が理解しやすく、また、共有化しやすいと思う。
- ・現在、期間中のセミナーの内容や会場で配布する小冊子の検討を進めている。

●60周年APD（アジアパッケージデザイン会議）

森理事より、資料に基づき、2021年の11月開催予定のAPDについての報告があった。

- ・現状では、APDもリアルな会議は難しいと思われるので、オンライン開催で検討している。オンラインならではのコンテンツ案を参加各国・地域に打診して了解を得るように進めたいと考えている。
- ・これまでと異なる点は以下の2点。
 1. 従来はAPD BEST CREATIVEとして各参加団体が持ち寄った作品の中から、各団体のベスト3を選出してAPD会議の中で表彰していたが、今回は「アジアパッケージデザイン賞（ASIA PACKAGE DESIGN AWARDS(仮称))」として、各団体のベスト10を選び、その中から大賞・金賞・銀賞・銅賞を選出し表彰する形に変えていきたい。
 2. 各国・地域のエリアレポートは、それぞれに現状や流行を動画をまとめて事前に送っていただき、それをAPDで配信することとしたい。
- ・井上副理事長より「2020年のAPDではJPDAのデザイン会議も合体して開催することになっていたが、2021年をどうするのかについて、関連委員会との打合せを別途持ちたいと思う」との補足があった。

●学生プロジェクト

三原理事に代わり森理事より、資料に基づいて、JPDA学生プロジェクトの今年度の活動についての以下の報告があった。

なお、プロジェクトが検討を進めるに当たり、会員からプロジェクトメンバーを募集したが、現時点で6名から申込みがあったとのこと。

- ・今年度の活動としては「各学校の先生方とのオンライン会議の開催」と、「パッケージデザインに関する動画コンテンツ（理事あるいは会員のインタビュー動画）のYou tubeでの配信」を進めていきたい。（詳細は資料参照）
- ・動画コンテンツの配信については、加藤専務理事から「学生からきちんと質問が出るか疑問なので十分検討してほしい」とのコメントがあった。

○60周年P. デザイン学校

小川(亮)理事より口頭で、2020年から延期となったJPDAパッケージデザインの学校についての現状報告があった。

- ・昨日委員会の打合せを持ち、オンラインでの開催については、昨年申込みがあった企業と依頼している講師双方の意見を聞いたが、委員会では、企業では新入社員の教育に困っている時期でもあり、できるだけ早く開校しようとの結論を得た。
- ・参加費設定の問題もあるが、オンラインにするとコマで購入できるので、JPDAサイトでの受け方を検討する必要もあり、別途インターネット委員会にも相談させていただいた

い。因みに、1コマの参加費は2,000～5,000円の間と考えている。

- ・高めに設定する場合は、事務局のPC環境を改善していただきたいと考えている。

第12号議案 次回理事会開催の件

伊藤理事長より、次回の理事会開催について以下の案内があった。

日時：令和3年3月10日（水）午後1時30分～5時00分

場所：オンライン（zoom）

次回の主な議題は2021年度活動計画と予算（案）、及び、2020年度の委員会収支報告となります。2月下旬に開催案内をお送りしますのでよろしくご参集のほどお願いいたします。

<議案書以外の諸件>

- ・竹内理事より、コンペ贈賞式について以下の報告があった。

「2/1(月)に東京ガーデンパレスでの開催を予定していたJPDAパッケージデザイン大賞の贈賞式は緊急事態宣言が発出されたことにより中止することとした。今後の運営方法、進め方については委員会で議論して再度報告したい。」

- ・山崎理事より、2021年5月発刊予定の「年鑑」の編集について以下の報告があった。

「今回は審査員全員の顔写真を掲載することとした。事務局より審査員に対し、2/1までに写真（カラー・白黒どちらでも可）を送ってほしいという依頼がメールで届くと思うのでよろしく願いしたい。」

以 上

（以 下 余 白）

<伊藤理事長の2021年 年頭所感>

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2021年も引き続き「デザインを強くする」を基本方針とし、「クリエイション」を中心にして「学び」、「交流」、「発信」の活動を行います。

2020年はコロナによって社会も生活も大きな影響を受けました。JPDAの60周年事業のいくつかは延期せざるを得なくなり、コンペの二次審査をオンラインで行うなどの対応をしました。また、人の集まる事業はオンライン開催となりました。

今年に入ってもコロナの感染は収まっていませんが、延期になった「縄文と弥生のデザイン遺伝子展」、「みらいパッケージ展」、「パッケージデザインの学校」、「APD（アジアパッケージデザイン会議）」をリアルとオンラインで開催します。オンライン事業については、昨年様々な試行錯誤が行われ、地域を超えた発信ができること、気軽に参加できることなど、プラスの面も明らかになってきましたので、今年もオンラインの特性を生かした事業を工夫していきたいと思ひます。

コロナが日常に浸透し、人と人のつながりが希薄になり、社会の活力も低下傾向にあります。こうした時期だからこそ、JPDAは積極的に事業を進めていきたいと思ひます。また、一昨年から実施している3つのユニットミーティングも継続し、情報交換と連携を進めていきたいと思ひますので、引き続きのご協力をお願いします。

理事の皆様には、常日頃の献身的な活動に敬意と感謝を贈ります。今年一年、理事会、委員会、会員が一丸となって頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願いたします。

2021年1月20日

伊藤 透